

質問に対する回答書について

工事名) 秋田自動車道 岩瀬橋他2橋(鋼上部工) 工事

質問事項と回答

番号	質 問	回 答
1	土木工事等単価ファイル 本工事で使用する土木工事単価ファイルは、令和7年7月以降の『令和7年10月改定の土木工事等単価_4週8休補正前』を採用されておりますでしょうか。	12月8日に掲載の参考積算条件書をご確認ください。
2	単価表1・2・3・4_8-(1) コンクリート 本工事で使用するコンクリート単価は、土木工事設計材料単価令和7年10月で公表されている単価を採用または、特別調査のどちらを採用されておりますのでしょうか。	積算に関する質問にはお答えできません。 なお、コンクリートの材料価格については、12月8日に掲載の参考積算条件書をご確認ください。
3	特記仕様書 25-7 支承 支承 E-1~6 の支承の材料単価の公表をお願いします。	令和7年11月19日掲載「質問に対する回答について⑧」質問番号4に対する回答のとおりです。
4	排水装置 排水ます A 排水ますの材料単価の公表をお願いします。	12月8日に掲載の参考積算条件書をご確認ください。
5	特記仕様書 25-12 交通保安要員 本工事における交通誘導警備員の労務賃金は、土木工事積算基準_令和7年度版の『労務賃金に含まれない手当等』は考慮されたおりますでしょうか。	土木工事積算基準_令和7年度版に記載のとおりです。
6	特記仕様書 25-4 鋼構造物の製作 中間横桁部材の製作の区分内容に大型材片(H形鋼を用いた中間横桁)の製作加工と記載されておりますが、大型材片の製作として取り扱うと考えてよろしいでしょうか。	中間横桁部材の製作の区分内容は、「H形鋼を用いた中間横桁部材の製作加工(原寸・加工)を行うもの」とお考えください。交付図書の一部に誤りがありましたので後日公告図書を訂正いたします。
7	特記仕様書 25-6 鋼構造物の架設 鋼橋の架設 B(岩瀬橋)は A1-P1 間の送り出し工法は、『土木工事積算基準令和7年度版』と『橋梁架設工事の積算令和7年度版』のどちらを採用されておりますでしょうか。	積算に関する質問にはお答えできません。
8	設計図 力石橋 64/81 岩瀬橋 81/102 土洩橋 76/101 中央分離帯転落防止網の材料の数量は、各橋梁の設計図に記載の材料表と『土木工事積算基準令和7年度版』の1m ² 当り数量のどちらを採用されておりますでしょうか。	中央分離帯転落防止網の材料の数量は、各橋梁の設計図に記載の材料表のとおりとお考えください。

9	<p>① 06-3 設計図__土渕橋 81/101</p> <p>架設計画図にて 350t 吊りクローラクレーン、120t 吊りクローラクレーンを用いた計画がされておりますが、地組立で用いるクレーンは、力石橋、岩瀬橋とは異なり、架設用クレーンを用いて地組立をすると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>貴社の計画に基づきお考え下さい。</p>
---	---	-------------------------